

第 章 民主党政権への期待

問 8 では、09 年夏に政権についた民主党に対してそのようなことを期待しているか、自由に記述してもらった。

07 年の参院選挙で大勝した民主党は、「国民の生活が第一」というスローガンのもと、「民主党の政権政策 Manifesto2009」を明らかにし、09 年夏の衆議院選挙で大勝利を手にし、社民党・国民新党とともに連立政権の座につくことになった。

本アンケートは選挙直後の熱気がさめ、民主党を中心とする連立与党の政権運営が試され始めた時期に行われたものである。この点でアンケートに回答していただいた方々の率直な要望・期待が表れているものと思われる。

ここでは、すべての自由記述について項目を立てて整理し、うち 3 件以上のものについて一覧にした。以下はそれをあらわしたものである。

新しい政権に対してどのようなことを期待するか

・ 財政支出および財政再建に関連する期待	計	160 件
(1) 税金のムダの排除 (事業仕分け支持)		98 件
(2) 税金の使途の明確化		21 件
(3) 財政再建		20 件
(4) 赤字国債の発行停止		12 件
(5) 新しい財源の確保 (消費税増税を含む)		9 件
・ 行政改革への期待	計	54 件
(1) 官僚天下りの禁止・撲滅		24 件
(2) 行政改革・公務員のスリム化 (定員・人件費の削減)		17 件
(3) 脱官僚・官僚支配の打破・官邸主導の政治の実現		10 件
(4) 道州制・地方分権の推進		3 件
・ 民主党の政治および政治改革への期待	計	118 件
(1) 生活者の視点・国民の目線に立った政治の実現		28 件
(2) 期待しない・できない・期待が薄れた		23 件
(3) 将来ビジョン (めざすべき国家像) の明確な政治		14 件
(4) 政治とカネ問題の解決、政治不信の解消		13 件
(5) 議員定数・議員歳費の見直し (地方も含む)		13 件
(6) 透明でわかりやすい政治・説明責任を果たす政治		12 件
(7) 抜本的な政治改革		7 件
(8) 構造改革路線の総括・修正		5 件

(9) 民主党政権の維持・継続		3 件
. マニフェストそのものへの期待と評価	計	5 0 件
(1) マニフェスト項目の実現		2 5 件
(2) マニフェスト項目の再点検・再検討、その柔軟な運用		1 9 件
(3) マニフェスト項目の優先順位の明確化		6 件
. マニフェスト重点項目への期待	計	5 4 件
(1) 高速道路無料化反対		1 5 件
(2) 「消えた年金」問題の解決		1 1 件
(3) 子ども手当実施支持		1 1 件
(4) 子ども手当実施無条件実施反対		8 件
(5) 高校授業料無料化賛成		5 件
(6) 高速道路無料化賛成		4 件
. 社会保障制度の整備、国民生活向上への期待	計	1 6 1 件
(1) 生活の安定・安心して生活のできる国づくり		4 1 件
(2) 減税・社会保険料削減、国民負担軽減		2 3 件
(3) 少子化対策・子育て支援の充実		1 9 件
(4) 社会保障の充実		1 8 件
(5) 公的年金制度の充実		1 4 件
(6) 格差社会の是正・解消、平等社会の実現		1 3 件
(7) 老後に安心して生活できる国づくり		1 1 件
(8) 増税（消費税含む）・社会保険料引き上げ反対		7 件
(9) 教育負担の軽減		6 件
(1 0) 弱者保護政策の充実		6 件
(1 1) 障がい者福祉の充実		3 件
. その他の政策への期待	計	6 6 件
(1) 景気回復の実現		2 6 件
(2) 雇用の創出と安定		1 9 件
(3) 温暖化と地球環境問題の解決		7 件
(4) たばこ税値上げ反対		4 件
(5) 外国人参政権反対		4 件
(6) 教育改革の実施		3 件
(7) 外交力の強化		3 件

以上の整理からみえてくることであるが、第 1 に問 7 での自由記述と比較して、問 8 の

自由記述はその数が多いという点である。このことは09年夏の衆院選挙において民主党が大勝し連立政権の座についたという、いわば新しい情勢のなかでの政治への関心を示しているものであり、期待と不満の双方においてアンケートに回答された方々の意見が多く出されているものと思われる。

第2に、全体の傾向をみると、「社会保障制度の整備、国民生活向上への期待」161件、「財政支出および財政再建に関連する期待」160件と多く、「民主党の政治および政治改革への期待」118件が続いている。また個別の項目をみると、「税のムダの排除（事業仕分け支持を含む）」が98件と圧倒的に多く、続いて「生活の安定・安心して生活できる国づくり」が41件と続いている。

アンケートをお願いした時期には、ちょうど新政権の行った「事業仕分け」がマスコミで報道され話題となっていた。また政権の座について以降の民主党における政治とカネの問題が焦点となりつつある時期であった。そのようななか、国民生活の向上を実現という課題との関係でその財源をどうするのかという問題、さらには国民の生活向上を進めようとする民主党そのものが真に信頼できるのかどうかという問題、言い換えれば自民党と同じように政治がカネにまみれ、結局、国民生活が置き去りにされるのではないかという問題（あるいは不安）が提起され始めていた。「期待しない・できない・期待が薄れた」23件は、民主党政権成立後の短い期間において、提起された問題の解決に対して否定的評価を表明したものである。この意味で、衆院選に向けて「国民の生活が第一」のスローガンのもと政権交代を目指していた段階が終わり、「国民の生活が第一」ということをどのように実現するのかということが具体的に問われる段階が始まったということであり、以上のアンケート結果はそのような現実を反映したものと思われる。

第3に、以上のことはマニフェストの評価にも表れている。すなわち「マニフェスト項目の実現」を期待するものが25件である一方、「マニフェスト項目の再点検・再検討、その柔軟な運用」を求めるものが19件であり、「マニフェスト項目の優先順位の明確化」の6件を加え、マニフェストの内容のなんらかの修正をもとめるものが同じく25件となっている。前者は民主党政権への期待を率直に示すものであるが、後者は現実的な政治状況のなかでマニフェスト項目の論点の具体化が求められていることを示している。さらにいえば選挙以前からマニフェストの重点であった高速道路無料化と子ども手当の実施についても支持・不支持が分かれている。これらの政策の功罪についての認識が国民のなかで深まっている結果であり、そのような点からみれば、アンケートに回答いただいた方々のなかで、民主党の政策そのものについても評価が始まりかけているということを表している。

以上、民主党に対する期待は、選挙前とは異なって現実的な期待あるいは失望として表明されている。民主党は政権政党としての責任ある対応を求められる一方で、国民の生活向上と政治改革を行わなければならないという、いわば困難な途に立たされている。しかし、これらのことが実現しなければ、次の参議院選挙において敗北という事態もありうる。このような結果は、安定的・継続的政権運営を困難にするものと思われる。まさにここで示された結果に、民主党はどのように答えるのか、このことが求められているのである。

以下、民主党政権に対して表明された期待について、特徴的なものを列挙しておきたいと思う。

問 8 の自由記述のうち特徴的な意見

45 歳 男

・新しい政権に対して大変期待しております。今は、発足したばかりで、やり方（進め方）がはっきりしていませんが、何より国民に対してわかりやすい説明、政界をオープンにしていることが素晴らしいと思います。今後、政権交代で公約した事項を 1 個ずつ確実に進歩させてもらいたいです。

39 歳 男

・本当にこの国の将来について考え、国民のための政策を立案、実行してほしい。他国の良い所はどんどんまねをして取り入れ改善することが必要。もはや、日本は決して豊かではない事を認識して政策を考えてもらいたい。

53 歳 男

・マニフェストにとられすぎ。高速道路の無料化などで反対に仕事なくなる等、不平等な人が出てくる。全体的に恩恵を受ける事を推進してほしい。財源捻出の為、IT 黒板導入中止等、教育関係を中止することはないと思う。無駄を省くなら国会議員の特典、廃止、給料を日当にせよ。まずは、自らのことから実行して下さい。

45 歳 男

・連合の一員として、推薦した民主党が政権をとったが、自分にとって何一つのメリットもない。何故、連合として民主党を推薦しているのか疑問である。一つ言うなら、年金制度は見直して全て税金（消費税）で 65 歳からまかなうべき。将来、年金未加入者の社会保障を税金で行うことになれば不公平になる。貧乏人は高い買い物が出来ないので負担は少ない。又、高齢者は 65 才～年金額を引上げて支給すれば問題ない。

38 歳 男

・東アジア諸国になめられない国交とアメリカの傘にたよらない真の意味での独立国家を構築してほしいと思う。

31 歳 女

・あまり期待していません。未婚にとっては、税が上がったりするだけなので。生活が良くなるとは思えません。得なのは、子どもがいる家庭のみ。でも、しばらくは、民主でやって欲しいです。10 年くらいは。

43 歳 女

・子育て支援など、既に子育てが終わっている人には何のメリットもない。現在、医療費が高額であるため、お金がないと病院にもかかることが出来ない。本当に必要とする人へ

の支援に力を入れて欲しいと思う。

60 歳 男

・公約の実現、タイミングとスピード感ある政策実現、情報の開示と説明責任の徹底、税負担の透明化と公平間の促進、将来ビジョンの明確化と具体施策の促進、温暖化防止施策の促進などを行い、4年後にも安心して任せられる政権を確立してほしい。

49 歳 男

・対外的には、広い視野で野党とも協力し合う。役に立っていない行政法人の実態を把握し、どんどん廃止していくべき。授業料無料、高速道路無料などどう考えても無理なものはやらなくて良い。もって景気を良くする方策を考えて欲しい。

35 歳 男

・とにかくマニフェストを守ってほしい。また、赤字国債の発行はやめてほしい。確かに、今困っている人の為に使うこともわかるが、そのツケを子供達に回すのはおかしいと考える。借金の返済計画を立てて、計画的な予算の運用を希望します。

41 歳 男

・選挙前の数々の公約が本当に実現するのか、不安です。現状は何一つ変わっていません。ブレやごまかしの事ばかりが伝わってきます。今更考える事はないと思います。マニフェストで約束したことを約束した通りに遅滞なく実施して下さい。

36 歳 女

・マニフェストを実行している姿は良いと思うが、公共事業の撤退については途中で投げ出しているのが不様に見える。また、中止したことにより、保障問題も出てきているので、同じお金を掛けるのであれば、当該地区の要望も踏まえ、遂行すべきではないかと思う。

39 歳 男

・理想は良いが、現実にはそれに向かって動いているかと言えば疑問。確実に理想に向かっていく政策実現をしてほしい。最近やっている仕分け。何が無駄かよくわからない。仕分け人の独善でバッサリやっている気がして不安。

39 歳 女

・子ども手当等期待する部分もあるが、それ以上に経験不足の人たちが重要ポストに就いている為、このまま財政を維持出来るのか不安の方が大きい。今だけよければいいのではない。子 孫・・・と心豊かな生活が続いてほしい。

25 歳 男

・太陽光発電システムに対する補助金の拡大（2020年までに現在の化石燃料における発電

量を自然エネルギーによって発電することを目指す。それくらいしないと 25%減の達成は無理)。日本の農業を守る。モノカルチャーではなく、多品目栽培を奨励し、補助金を出す。大豆、小麦栽培のための汎用コンバインを無償レンタルする、技術指導するなど。稲作と他の低自率作物の共作化を進める。社会補償制度を確立するために早期に消費税を上げるべき。国債を毎年 10 兆円くらい返済していく。それでも 800 兆円の返済に 80 年かかる。投機を国民に定着させた新自由主義の見直し。最近の住宅の寿命が 30 年程度であるが、過去の日本家屋や外国の住宅が 50 年～80 年程度耐久できることに対して短すぎる。ローンが終わる前に壊れる。日本製品の品質が良いという日本の利点があるが、実際に買う製品の多くが東、東南アジア製。国内で雇用生産すると採算が合わない現況を変えるべき、安かろう悪かろうの低文明社会になっている。

37 歳 男

・期待は全くしていません。政治家は全員利己主義者だと思ってますから。今の日本の政権にとって何で喜んでいただけるの？問題が山積みなのにね。利権のこと考えたらうれしいか？そんなもんぐらいにしか思ってません。

39 歳 男

・国の借金が 800 兆円を超え、税収は減収。毎年国債を発行して補っている状態は健全なのでしょうか。この借金は支払わないといけないものなのか。グローバル化に伴い仕方ない一過性のものと考えていいのか。生活者としては、給料と同額の借金を毎年続けて生活するというのは有り得ることなのか。日本国が世界的信用を持続するため、施策は非常に多いと思われる。雇用の安定と創出、高度な教育による人材の育成等、世界の行く末を踏まえた日本の方針、方策、決定が急務と思われる。

28 歳 男

・政権交代によって政治手法がガラリと変わったが、その変化に社会がついてきていると言えない状況となっている。(株価の下落等) 今回の選挙では「政権交代」に重きを置いており、正直に言えば、マニフェストにまで詳細に精査した有権者は少ない。その時その時の状況によってフレキシブルに対策を行ってもらえればと思う。

57 歳 男

・日本は貧しいのに、外国を助ける為に、何千億円も融資して、戻ってこないのに日本がピンチの時はたして助けてくれるのかどうか。国債貢献、円借款はやめたらいい。そのお金は日本の為に使用すべき。

58 歳 女

・新政権に大いなる期待をしている一人です。悪い膿をどんどん出すことは、大変な勇気と決断力を伴うものですが、頑張っただけいいと思います。とは言え、「落度・・・(例えば鳩山首相の秘書問題等)」の小競り合いの議論に大事な国会での時間を使って欲しくありません。

ん。

41 歳 男

・税金も年金も健康保険も負担に対して納得したい。その為には、継続しなければ国が前項するという基幹事業を明確にしたうえで最低限の費用を明示してもらいたい。この際、福祉にしても欧米を指標とするのではなく、「アルジェリアならこのレベルでいくら」「スウェーデンならこのレベルでいくら」「中国ならこのレベルでいくら」とモデルを示してもらいたい。大衆は受け取る側では貧欲なだけの存在であり、今現在の制度に手を加えても不満しか残らない。財政の現状そして将来を考えると費用とサービスについて原点に戻って選択すべきである。

45 歳 男

・少子化が問題視されて久しいが、そもそも、高校、大学の教育費がかかり過ぎ。ほとんどの子供が大学に行っている現代、教育費の負担が大きいのも少子化の一因だと思う。何とかならないものかと思う。

37 歳 男

・国家公務員制度の改正（国が赤字なのに公務員が民間よりボーナス、退職金で優遇されているのはおかしい。民間なら赤字＝ボーナスなし 足りなくなったら税金を上げるだけではダメ！）、公務員での unnecessary 物品購入は、処罰されない！返還しても良いくらい！税金が使われるのかおかしい。

52 歳 男

・無駄使いをなくしてほしい。

57 歳 男

・民主党政権になり、今までの政治の無駄な出費、官僚の天下り、貧富の差など格差是正がなされるように期待している。ただ、子供手当の支給などのように誰にでも一律にお金を支給することのないように所得に応じた対応をするべきである。公共工事の無駄な計画、実施については今その仕分けがなされているが、良いことと思う。経済と環境問題とは常に関係があり、環境に配慮した政治が求められる。エネルギー問題もそうであり、政治は一部の与党議員の考え方で進めていくのではなく、国民、有識者などあらゆる分野の意見を反映されたものでなくてはならない。日本国内の状況にとらわれることなく、外国の良い例を参考にするなど視野を広めた政治を行ってほしい。

42 歳 男

・問7で書いたように、労働者と使用者（経営者）での不公平感がなくなり、労使が一体となって働ける社会作り。経営者の給料・ボーナスの透明性を高める為の法改正。経営者への罰則強化（法律違反をした場合）不払い賃金やサービス残業を無くするためのチェック

機能の拡大。

44 歳 男

・公約が全て実施可能とは思っていないが何故実施できないのか。改善するためには何が障害かを国民に隠さず知らせて欲しい。曖昧な答弁を期待して民主党に投票したのではない。党派を超えた国民のための政治をしてほしい。国会での見苦しい言動の排除。諸外国の対して対等な外交。

44 歳 男

・環境問題の関係で温室効果ガスを 90 年比 25%削減目標を掲げており、太陽光や風力等自然エネルギーを大幅推進しているが、原子力発電（電気の基幹部分）をなくしては成り立たないため、原子燃料サイクルの推進は続けてもらいたい。

32 歳 男

・一般ニュースでの範囲しか知らないが、現在事業仕分けを行っているが、真に必要なもの、不要なものについて政治家の目で見めるのではなく一般国民の視線をもって全てに対して取り組んでもらいたい。国会（予算委員会等）で相手のあげ足をとるようなことをせず、これからの日本経済政策の話をしてもらいたい。賛成出来ないものとして、・高校授業料無償化 高校進学できたものは無償化（公費補助）一方定員により進学したくても出来なかったものは就職 or 浪人となる。進学出来たものだけに利益が生じてしまう。・子供手当 支給された場合の使用目的が明確に見えてこない。例えば口座振込支給した場合、食費・娯楽に使用される可能性あり。子供のいる家庭のみ得をするのはおかしい。

34 歳 男

・政治に対する不信をなくすため、オープンに出来るのならば施策の決定をオープンにし、議論の過程や理由を国民にしっかり説明してほしい。日本の将来像を具体的に示し、取り組んで欲しい。財政健全化を果たさねば、将来の子供たちへの負担が大きすぎる。

49 歳 男

・教員関連費の増加を期待します。職場に教諭ではなく、講師の先生がたくさんいます。その方々を早く教諭に採用してあげるとかして、少しでも正規教職員を確保していただかないと愛媛県教育は大変なことになるのではないのでしょうか。

35 歳 男

・全ての国民が社会の一員として役割をもって生きていく為の権利と義務を明確にする政治。

42 歳 男

・マニフェストに書いてあることを、形通りに実行しようとせず、高速道路の無料化、自

衛隊の海外派遣、沖縄の在日米軍の基地問題等、時間をかけて実行し、修正する事項が多少あれどバランスよく運営してもらいたい。

41 歳 男

・良い結果になるかどうかは、分からないが新しい政権になることで得るものが多いと思う。時代が変わる時だと国民も意識し、多少の痛みは我慢して新政権について行くべきだと思う。国が良くなることが国民の幸せにつながると思う。ただ税金の無駄使いは徹底して廃止して欲しい。(天下り、無駄な公共事業など)

56 歳 男

・国の借金を減らす取組 「国家の破産」について定義を行い、借金の額に限度を設定することにより「自分だけ良ければいい」という発想で国の全てを要求する自治体や団体に対して「国家の存続に責任を持った発言をするように強く指導すべき。」 借金返済の責任の明確化 国債を発行した場合、自治体や団体、省庁に対して借金の連帯責任を明確にするために負担額を割り当ててその削減に向けた努力を求め、努力しないところには予算を割り当てないようにする。自民党に対しては、これまでの借金の責任を厳しく追求すべき。(借金の一部について返済の連帯責任を取らせるべき) 国会議員数に応じて国から支給される金から差し引く等借金についての何らかの歯止め制度が必要。

34 歳 男

・今が、仕組み・制度を変えられる時。何が変わったかを国民に分かるようにして欲しい。税金がどのように使われているか分からない。使用した実績をチェックし、公開して欲しい。景気対策(国・世界)で力を入れていく産業が見えてこない。

54 歳 男

・自公政権で漠然と進められていた公共事業を事業仕分けによって見直しを行っているのは、素晴らしいことだと評価する。将来、不足する財源を今後いかに確保するのか明確な方針を説明して欲しい。

26 歳 男

・国の借金を返せるような予算をくむ。1.公務員の意識改善及び適正化。自分は倒産しそうな会社(国)にいるという危機感をもってもらいたい。2.公共事業の適正化。事業性を考え、投資に見合うだけの効果(費用対効果)があるのかどうかを考えて投資案を組んでもらいたい。シーズではなくニーズで考えてほしい。

24 歳 男

・車会社に関税をかけたら税収 UP になる。大企業ばかり保護しすぎ。TV メディアをどうにかしてほしい、片寄った報道になっていると思う。政治家にも年令制限を設けてほしい。考え方が固まった年寄りが多すぎる。

41 歳 女

・あまり期待はしていません。マニフェストにおいても無理な内容ばかりの気がしてなりません。いかに国民の負担が少なくなるか税金の使い方からもっと考えて欲しいと思います。

36 歳 男

・金問題に着手してほしい。天下り、裏金問題が自民党では無理であった部分を期待します。その他のことは、税金をあげる前にしぼれる所はすべてしぼる。必要であれば、国会議員を減らす。

33 歳 男

・税金無駄使い（天下り、事業投資）をなくし、今後このようなことが出来ない環境、風土を作してほしい（法改定など）国民は義務を果たしている（納税）政治家ももっとしっかり義務を果たして欲しい。今の政治家は、自分のやりたい政策をしているだけで、国民のリスク（税金）をすり変えているだけで国民の環境は変わらない・・・もしくは悪化している。政治家はもっと国民の負担が増えない政策をするべき。

32 歳 男

・生活しやすい環境を作るために低所得者には、税金、保険料をもっと少なくしてほしい。また、消費税も生活必需品にはかけず、ぜいたく品に税金をかけて欲しい。高速無料化はやめ、平日も含めて 1000 円にすべきだと思う。

44 歳 男

・無駄排除（国会議員の削減、特別手当含む）や、使途不明金を洗い出し、国民の負担軽減をまず、すべきである。これらを明確にした上で住居、医療、学校、最低生活手当が保障されるのであれば、税金が多少上がってやむ終えない。高速道路無料化にした場合、メンテナンス費用が使途不明金扱いから算出されるのではないかと考え無料化は反対である。

32 歳 男

・支持率の低かった社民党や、国民新党を政権に入れて、かき乱されている感じがする。首相はしっかりとリーダーシップをとって、重要な案件には、厳しい態度で意見を言って、党の方針が反映されるようにして欲しい。

26 歳 男

・例えば、CO2 削減の発言等、政治家個人の意見がそのまま国の意見として扱われ、国民に大きな負担としてのしかかる。軽はずみな発言が多すぎるため、よく内容を吟味したうえで発言してほしい。政策についても、素人目で見ても、「何でそんな無駄なことを今する

のか？」と思うようなものが多すぎる。麻生政権の時のような、給付金、高速千円といった国民に還元でき、かつ、効果のある仕組みをもっと作って欲しい。何かをする場合は、うやむやなまま進めるのではなく、期待される効果を明確な数字で示して欲しい。（明らかに試算結果がおかしい等たまにあるが、ごまかしは止めるべきだ。）

27 歳 女

・税金の無駄使いを廃止し、運用方法を明確化すること。高齢者の生活費を若い世代の私たちが負担するのは当然だと思いますが、このまま増え続ければ、あらゆる世代の生活が脅かされる事態になると感じます。社会保障制度を見直し、将来性のある政策に期待します。

33 歳 男

・公務員制度改革 行政の無駄を排除できる体制を作ってほしい。従来の自民政権下での族議員等による利権がらみで非効果的となっているもの（空港乱立や公共事業ダム）を徹底的に見直し、本当に必要な優先度の高いことから実施するようにしてもらいたい。国際的な競争力をもった国家となるような政策を実現してもらいたい。

32 歳 男

・何がなんでもマニフェスト実現ではなく、将来の日本と現在の生活を最優先してほしい。個人的には、高速道路無料化、子ども手当も無条件給付は反対です。日本の道路は車社会の外国とは出来が違うので、すぐ渋滞する。子どものいない世帯が増税されてしまうのは大いに疑問。

41 歳 男

・ 1 . 公務員の無駄を完全になくしてほしい。 2 . 渡り、天下り等をなくし、退職金を何回も出す仕組みをなくしてほしい。 3 . 公務員も世の中の景気に合わせ減給すべき。 4 . 消えた年金については、申請した人を全て受領すべき。国が犯した集団的詐欺であることを忘れてはならない。逆に嘘の申請をした人を社保庁は見つけたらよい。“これなら来年度中に完了する” 自民党のような国民を無視した政党にはならないでほしい。

23 歳 男

・景気回復ないしは現状維持。他国よりもまず自国の安定を優先に。日本とその国民のための政治を！無理な政策を強行するよりは、堅実で確実に行えるものを少しずつ進めて欲しい。

50 歳 男

・行政改革は良いが、無料化を増やしすぎる。消費税の引上げは、農業、漁業、製造業、客待ち業は特にマイナスである。

43 歳 男

・子供手当の支給はいいとしても、扶養控除等が無くなるのは困る。中学校までの子供のいる家庭はいいが、高校、大学と子供がいる家庭は負担が大きくなる、大変困る。

33 歳 男

・国民の意見を幅広く聞き、バランスの取れた臨機応変な対応を望みます。雇用対策や生活保護についても一時しのぎではなく、根本的解決のためにどうすればいいかということを経験してほしいです。

58 歳 男

・前政権のひどい状況を改善してほしい。・骨太方針・三位一体・行政改革・市場主義政策・道州制等。

44 歳 男

・高速道路の無料化に対しては、絶対反対です。現在、行っている事業に対しては、中止をしないで欲しいと思います。南予にのびている自動車専用道路は特にお願いします。

37 歳 男

・既存の枠組みにとらわれない予算の使い方をしてほしい。(米軍基地問題、思いやり予算の削減、ガソリン暫定税率の見直しなど。)

37 歳 男

・経費的な面だけではなく、目指すべき国家像を示して欲しい。どんな国作りをしていきたいのか。今の状態では旧政権の悪口しか聞こえてこないで・・・

35 歳 女

・子ども手当のようなばらまきはやめて欲しい。高速道路無料化について財源が利用者、非利用者にとって公平になるのなら進めても良いと思う。基本は、受益者負担だと思う。

35 歳 男

・公約と称すること「やっぱりフタを開けてみるとダメだ」は止めてほしい。現実の国の収支をきっちり整理し、これ以上の国民からの負担は増やさないでほしい。国の両院どちらかが地方県市へ派遣され統制をとり市県議はなくす減らすで日本全体の議員総数を 1/3 減らす。特に国に両院は必要か。人員削減は今日必要。人件費減らす。

27 歳 男

・天下り企業等をなくしてスマートな仕組みにしてほしい。収入(税収)が決まっているのだから、ちゃんとその範囲でやりくりしてほしい。政治と金の問題をわざわざ国会で取り上げ、時間を無駄にしないでほしい。

48 歳 男

・子供手当や高速道路無料化等、マニフェストに記載したからという理由で制度化を急ぐのではなく、それらに伴うデメリットを十分に克服したうえで進めるようにして頂きたい。

30 歳 女

・政権交代したからと言っても国の政策に対して不信感がある。(全体的に)目先のことでなく、長い目で見て国民が安心できるような政策に取り組んでほしい。

32 歳 女

・“国民の為の政治”政治家が得をする政治家の為の閉ざされた政治ではなく、国民の為の開かれた政治を期待する。特に医療、福祉においては諸外国を見習い、大幅な改善を望む。

54 歳 女

・期待しない。自民党 NO で生まれた政権だから。マニフェスト実現といって最高の赤字国債を発行しようとしている。もってのほか。すでに国の破綻でしょう。公務員制度改革に取り組む気がない。結局、自民党と同じ。

58 歳 女

・庶民が普通に暮らせる世の中。憲法 25 条の「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」を名実ともに実現できるような政治を期待します。

37 歳 女

・今までの古い慣習から離れ、地方の国民の意見が多く届いて良い方向に変わってほしいと思います。

44 歳 男

・政権交代し、勤労者の諸問題やその他自民党の不思議で理解しがたい政策を正常に戻してもらいたい。定期昇給額下り増税による負担の方が大きく何のために仕事を頑張っているのかわからない。欧米や国外との外交はもっと毅然と行ってもらいたい。

43 歳 男

・雇用の安定、税金の無駄使いを無くし、税金を有効活用する。高速道路の無料化は嬉しいが、他の税金を高速道路に使用するのは疑問である。各税金(財源)の使い道を明確にしてほしい。

38 歳 男

・児童福祉及び教育に関する公約を必ず実施してほしい。八ツ場ダム建設について問題討論されているが、民主主義の考えから必要と思われるなら建設すべきでは。こういった 1

つの問題ばかりに気をとられ、他の公約が手薄になるのは許せない。何の為に政権交代したのか国民が今一番何を望んでいるのかよく検討し、きれいな政治をお願いしたい。民主党にとっては、この4年間は中途半端で終わらせてはならないと考える。

45 歳 男

・政権交代後、激的に政治が変わると思っていたが、期待はずれである。自民党もそうであつたが、やはり官僚主導なのか？年金問題も自民党前大臣や民主党 長妻大臣、いずれも担当になる前は、かなり勢いよく「問題をあきらかにして対策をうつ」様なことを言っていたが実際、問題に着手すると途端に動きが悪く、歯切れの悪い言葉を使い出す。何がそうさせるのか？思うように動かないのはどうしてか？自民党とか民主党とか与党だの野党だの言っている場合ではないと思う。議員がみんなで色々な問題に取り組んで、早く目に見える対策・散策を行って欲しい。

38 歳 女

・政権が交代しても、以前と大きく変わることはないので、何も期待していない。選挙前のマニフェストの内容も選挙（政権交代）後、微妙に少しずつ変わってきており、期待できない。

45 歳 男

・反対政党から正の政党に変わり、国のかじ取りが難しいと思いますが、自民党による政治のしがらみを払いのけ、新しい目で国全体を大きく変えてもらいたい。事業においても計画を良く立てて無駄なお金・労力を使わない政治、又、地方自治体も同様！

49 歳 女

・議員というのは、国民から税金をいただいて、それを“活用させてもらっている”“食べさせてもらっている”という事を肝に銘じて仕事をしてほしい。今“無駄”の仕分けをしているが、“無駄”な議員はいないだろうか？定数の見直しをしてはどうか。1億、2億ぐらいすぐに減らせると思う。自民党政権の時に民主党が色々と（個人の献金問題等）激しく追求していた事を逆の立場になって追求されない様にもっと身内に対しても厳しくしてほしい。

45 歳 女

・平等で公平な世の中にしてほしい。一般サラリーマンが普通に働いて結婚して、子供が2、3人、一軒の家を建てて少々の貯金があって、子供を学校（できれば大学）に行かせて、あとは退職後、病気になってもボケても安心して生活出来る制度があったらいいと思う。
＊出来れば、学校へはローンをしなくても行けるぐらいがいいです！宜しく願いします！！

56 歳 男

・企業はあらゆる手を打って不景気を乗り切ってきたのに、今までの政権では借金を増やすばかりで削減努力を怠ってきたと思う。企業であれば赤字経営は倒産を意味します。倒産を真剣に考えれば、もっと早くから対策が取れたはず。今回政権が変わったことで、真剣さが伝わってきます。このまま改革を推し進めマニフェスト通りにはいかなくても、改革していることが見える政権であってほしいと願います。改革半ばで逆戻りということがないように、期待しています。

46 歳 男

・民主党マニフェストにある「こども手当」はぜひ実現してほしいが、本当に財源は大丈夫なのか非常に不安に思う。個人的には、所得制限を設けて、その分を保育所の増設等にまわしていく方が良いと思う。今は、子供の教育費の負担が非常に大きく感じる。「高速道路の無料化」については、通行量が増え、事故等が増えたりするのではないか。この財源も本当に大丈夫なのか。（国が借金を肩代わりして払えるのか）新しい政権に対して徹底的に無駄をなくし、真に国民の信頼を得る政治をしてほしい。消えた年金問題に対してなぜ誰も責任をとらないのか考えられない。あまりにも税金の使い方に不信感がある。もし、これが自分のお金だとしたら、そんな事に使えるのかと思ってほしい。民主党には、そういった改革に取り込み信用ある政治を望みたい。

30 歳 男

・今までの自民党政権時代の腐敗した部分を洗い出し、まずそこを国民が目で見える形で表してほしい。そこから優先順位を付け、改革を行って欲しい。

26 歳 男

・高速道路無料化など、大きく発表していますが、財源が不明確で世論を味方につけたいためのアピールにしか見れない。税金をとらない等の施行が多いが、現存の水準が下がってしまいそうで不安。そもそも現在の税政では日本そのものを支えるのは不可能だと思う。

36 歳 男

・信用・信頼できる政治を期待します。 マニフェストは確かに大切であるが、それに固執することなく、本当に必要と思われる内容を吟味しながら政策構築の実現をしていって欲しい。（特に必要だとは思われない項目も存在すると思っているため） 国家・国民のためには、与党だ、野党だと言わず、一致協力して政治を進めていく器の広さを持って欲しい。（野党（自民党）の経験や良いと思われる政策は、それを利用、採用することも必要） 選挙のための言動とならないようにして欲しい。

28 歳 女

・社会保険料率の引上げ、増税等の国民の負担を増やすやり方には賛成できません。物価も上昇しつつあり、雇用の確保が不安定な今日、一般の我々に負担を課すのは、今後の生活に大変な不安を強いることだと思います。現場の声（大多数の一般家庭の実態）を真に

理解した上での政策を考えてほしいです。

30 歳 男

・年金対策・少子化対策 今の 20 代、30 代は将来年金をもらえないと思っている人が多い。2050 年には、高齢者 1 人を現役世代 1 人で支えなければならない。可能性もあると言われしており、そうなれば年金どころではなくなる。真面目に働いてきた人が食べるのも困るような状況にならないようにしてほしい。

38 歳 男

・現在の政党にはあまり期待していない。借金が 800 兆円を超えているのに返す気が見られない。いつか、近いうちに国がつぶれるか、高インフレになるか、戦争になる。収入の 2 倍も使っていたらいつかは生きていけない。増税+支出減で借金を無くせば、いつかは普通の生活（社会保障を受けられる）を送っていけると思う。30 年は必要だと思うけど。

46 歳 男

・公約をたくさんしているが、やれない事ばかりである。政権交代したが、やはり前政権と同じだ。社会のみんなが安定した生活が出来るようにやって欲しい。問題がたくさんありすぎてやっていけるか不安だ。

33 歳 男

・自行政権に NO！をつきつけたかっただけで、新政権に YES ではない。マニフェストについても反対であり、実行してほしくないものもある。勘違いをせず、状況を捉え、変化に合わせて適切なより良い対応をとってほしい。

47 歳 男

・民主党のマニフェストの中で期待できることが多くあり、喜ばしいことですが、ただその発言が税収減少に伴い、赤字国債発行にたよっていたのではあまりにも将来が不安です。マニフェストの変更も多少はやむをえないと思います。特に高速道路の無料化はあまりにも無謀であると思います。海運会社、JR 含む私鉄に与える損失ははかり知れないものがあると思います。

42 歳 男

・今回の選挙は自民党に対しておしおきしてやりたいと思う国民が多かったのが民主党が勝ったのではないと思う。しかし、民主党も野党時代は追求する立場でいられたが、今後は追及される立場になったので、今後の出方を注目している。只、一つ気がかりなのは、民主党のマニフェストになかった外国人参政権は憲法違反なので断固として反対する。民主党がこれを無理に推し進めるようなことがあったら政権自体が短命に終わりを迎えるだろうと思っている。（国民の大多数が反対していることを民主党は肝に命じるべきだ！）

26 歳 女

・事業仕訳等に見られるように、まずは国政改革により、負債（国債等）分を補てんして
いって欲しい。国民に対しての増税は、それが済んでから！！「増税 国債の返済 国民
に対する行政サービスの向上はなし。」というサイクルでは困る。他の国の良い政策を参考
にするのは良いと思うけれど、必ずしも日本に合うとは限らないので、日本に一番合う形
の政策にしていって欲しい。あと、高速道路の無料化は必要ないと思う。修繕費や管理費
などの必要不可欠な費用もあるはず。適正な金額をきちんと算出して、必要な分は取るべ
き。

55 歳 男

・衆議院で画期的に自民党からの政権交代を実現したけれども、やはり今までの財政赤字
は膨らんだままであり、この先容易に縮小という流れはつかめそうにもない。その中でも、
一部方法論等で話題にも上がった事業仕訳であるが、予算計上につながる説明等をできな
い官僚もいて、一種の不信感もわいてきた。日本の将来を見据えて本当にいる予算は優先
すべきである。今後は、安易な国債等の発行にたよるのではなく、しかも、つけを 21 世紀
を引っ張っていく若者の負担にならないように無駄ベースを洗い出す枠づくりを節に望む。
選挙に勝利するためにマニフェストを大量に旗揚げするのもいいが、何が優先であるか本
当に論議をしたのか疑問が残る。日本の人口は、将来減少をしていくわけであるが、その
労働人口の補完的対策は、根本的に女性の出方次第にかかっている。じゃ、出てきやすく、
子供も安心して産んでいただく環境を一番にすれば一番話が早いのである。働いて遅くな
ってきっちりサポートしてくれる保育所の設置等・職場のサポート体制など、思い切って
改革をすればいいのではないか？子供手当の新設 扶養控除の削除など、せこい考えじゃ
なく女性をもっと前面にすえるべきである。よく中小企業は火の車と言われているが、案
外、目に見えないが助成金が多くある。経営者は労働者の時給を 1000 円にしたら潰れると
いうがおかしな話である。月収ベースでみると、たいした金額とはいえず道理からはずれ
ている。おもいきり上げないとますます労働者のやる気・誠意がはげ落ちてしまうし、む
しろそちらの方が心配である。